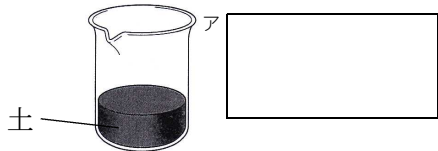
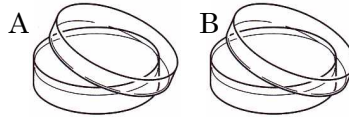


土の中の微小な生物のはたらき

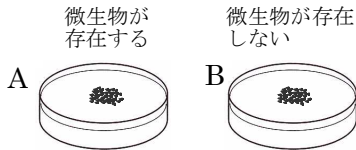
①移植ごてで掘りとった落ち葉の下の土をビーカーに入れる。



②0.1 %デンプン溶液100 mL に寒天粉末2gを入れ、加熱して溶かしたものを滅菌したペトリ皿A、Bに_____に入れてふたをする。

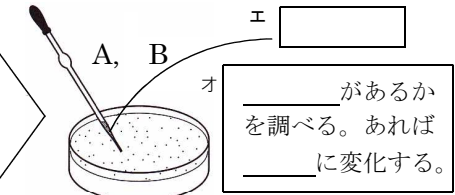


③ペトリ皿Aに土を、Bには土を十分に加熱して冷やしたものを同量加える。



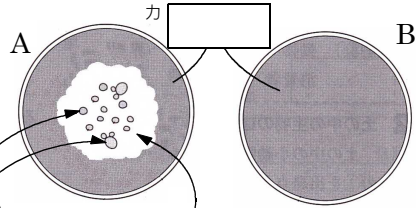
④A、Bの表面の土を洗い流し表面に_____を加えて変化を調べる。

25℃の暗い場所に3~5日間置く。



2日後Aでは、培地の表面に小さな粒が現れた。

3日後Aの粒は少し大きなかたまりになり、毛のようなものが見えた。



5日後
 ⑤かたまりになった微生物の集合体を_____という。

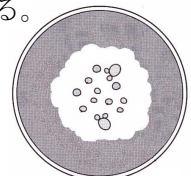
白くなったのは_____

	A(土)	B(加熱した土)
培地の表面のようす	ケ	コ
ヨウ素液による色の变化	サ	シ

(1) 土の中には、目に見えない微生物が生活している。寒天にデンプン溶液を混ぜて培地をつくったのは、デンプンが、_____である。

(2) 土を加熱したのは、_____である。

(3) 2日後に小さな粒が現れ、それがだんだんと大きくなったのは、土の中の微生物が数を_____, 目に見えるかたまり(_____という)になったためである。



(4) ヨウ素液を加えたとき、かたまりとその周辺で青紫色にならなかったのは_____である。

土の中の微小な生物は、土の中の_____を取り入れ、呼吸によって二酸化炭素や水などの_____に分解して、生活に必要な_____をつくりだしている。

注意... _____。